

# 事業報告書

## 第 1 事業結果の概要と運営状況

### < 保育事業について >

・保育の実施面では、延1,945名の実施児に、職員33名・パート保育士13名・その他3名計49名の職員を配置した。

・保育計画や指導計画等に沿って、0・1・2歳児は年齢別保育を3・4・5歳児は異年齢保育と年齢別保育を行い、明るく家庭的な保育環境づくりに心がけた。

・園児の成長に大切な遊びに意欲的に取り組めるよう援助と配慮に心がけながら養護や教育を行った。

・標準時間(11時間開所)保育に加え、2時間の延長保育、一時預かり保育、体調不良児保育(自園型)を行い、園で体調が悪くなった場合は保護者がお迎えに来る間、保健室で看護師が対応した。

・園児一人ひとりを大切に自主性、自発性が養えるよう基礎づくりに努めるとともに、体育指導面では、外部の専門家により月2回の指導を、音楽リズム面では「こどもの夢と未来舎」、動物とのふれ合いでは「吉川ポニー屋」に委託し、それぞれ月1回実施した。また、年長児は、お茶のお稽古を月1回実施するとともに、高齢施設への訪問や地域の方とのふれ合いも行った。

・登降園システムを導入することで、園児の登降園の把握をすることが出来た。延長保育料についても自動で計算できるようになった。

・職員向け勇気づけアドラー研修を実施し、職員の資質向上を図ることができた。また、役員・職員合同による防災訓練を行い、非常食や防災用品についての再確認を行った。

・都のキャリアアップ研修を受けて、リーダー層の資質向上と専門分野の知識を現場で生かした。

・新型コロナウイルス感染予防のため手洗い・うがいはじめ、消毒や室内換気を十分行い、検温をしてから登園し、健康状態の把握に務めた。

### < 施設環境の改善について >

・太陽光発電システム(地産地消型の都補助事業)の導入により電気料の削減と省エネ診断を受けたことで職員の省エネの意識を高めていった。

### < 業務処理の改善について >

・ホームページの充実(写真を多く取り入れながら園の様子を伝えていくことができた)

・勤怠管理(勤務時間・休暇など)システムの導入

・10月からの保育無償化に伴う給食費(副食費)についての取り組みを行った。

## <組織の運営管理の改善について>

保育事業の実務的な運営面では、職制として、園長・主任・副主任に加えて、14名のリーダー職を今年度も配置し、保育事業のより組織的な運営を進めるとともに将来の人材育成を図ることをめざした。

リーダー職は、毎年度、人選を行った上で、辞令を交付し、組織の活性化に努めた。

## <個別の運営管理面について>

- (1) 事務管理 一般管理、人事・給与・福利厚生、財務管理等の着実な実施に努めた。
- (2) 現業管理 保育内容、保健衛生、給食内容、安全対策その他の管理を通じて職員の資質向上に努めた。
- (3) 嘱託医 内科（ナルケンキッズクリニック）  
歯科（上田歯科）
- (4) 委託業務 経理事務（青梅市保育園事務協会）  
社会保険・給料・労務（内野人事労務事務所）  
消防設備（株式会社 泰伸）  
機械警備（セコム株式会社）  
非常通報（テルウェル）
- (5) 金融機関 西東京農協調布支店 青梅信用金庫河辺支店 りそな銀行東青梅支店
- (6) 園児の保護者に対する家庭保育への支援と連携  
園児の保護者に対して、園だより・保健だより等の配布を行った。また、給食の献立や身体測定結果をお知らせするとともに、保育相談等を通じて、保護者への支援を行うなど保護者との連携に努めた。
- (7) 地域での子育て支援  
子育て支援スペースとしてかるがもルームを開放し、ベビーマッサージ等の育児講座を行った。
- (8) 家庭的保育との連携  
家庭的保育事業者に対して、保育に関する相談・指導、健診、当園行事への参加及び一時的な保育代行などを行い、市が進める家庭的保育との連携に努めた。